

- 1 日 時：令和5年10月11日（水）5校時
- 2 教 科：総合的な学習の時間
- 3 学 年：1年A組
- 4 単元名：「2030年大崎上島SDGs実現プロジェクト！」
- 5 単元について

単元における本質的な問い	単元における永続的理解（本質的な問いの答え）
<p>よりよい町づくりに参画していくために大切なことは何か？</p>	<p>地域社会には、その地域ならではのよさがあり特色がある。これらの特色に応じた課題は、よりよい郷土の創造に関わって生じる地域ならではの課題である。自身の地域における自分の生活や、自己の生き方との関わりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくことが大切である。</p> <p style="text-align: right;">(H29 学習指導要領解説 総合的な学習の時間編を参考)</p>

#### パフォーマンス課題

<p><b>プロジェクト名</b> 2030年大崎上島SDGs実現プロジェクト！</p> <p><b>プロジェクトの目標</b> 人口減少が続いている私たちのふるさと大崎上島で、2030年までにSDGsを達成させるためには、どんなことが大切なのかを1人1人が考えること。 ☆SDGs（Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」）は、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための目標である。2030年までに世界中で各目標を達成することが求められている。</p> <p><b>求められる成果物や達成目標</b> 「私たちの大崎上島 SDGs 2030」レポート（別紙参照）を青海祭（文化祭）で展示し、保護者の方や地域の方に見てもらうこと。</p> <p><b>評価項目</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①探究すること：プロジェクトの達成目標に向けて、よりよい方法を考え取り組むことができたか。</li> <li>②自ら行動すること：失敗を恐れず行動・チャレンジし、その結果を次の活動に生かそうとすることができたか。</li> <li>③自分を見つめること：自分の興味があることや得意なことを見つけたり、将来の自分や島の未来について考えたりすることができたか。</li> </ol>
--

## 6 生徒観・指導観

生徒に学習に関するアンケートを実施したところ、『授業では、自分の考えを積極的に伝えています。』に否定的に回答している生徒の割合は20.0%、『「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。』に否定的に回答している生徒の割合は12.0%であった。「情報の収集」、「まとめ・創造・表現」といった探究的な学習過程に日頃から十分に組み合っていないと感じている生徒が一定数いることがわかった。

本単元は生徒の現状とPBLの考え方を踏まえて単元構成を行った。指導にあたって、「まとめ・創造・表現」の活動がより充実するように単元構成を行っていく。生徒にははじめに、「プロジェクトの全体計画」を提示する。「プロジェクトの達成目標」や「評価項目」、「スケジュール」、「成果物」を示し、「まとめ・創造・表現」までの見通しを持たせる。また、振り返りシートを活用することで、毎時間や単元終了後の自己評価をしやすくし、生徒の変容をとらえながら各時間の指導を行っていく。

また、本単元では、大崎上島でのSDGsの達成に向け、「トレードオフ」に注目する。トレードオフとは、何かを達成するためには何かを犠牲にしなければならない関係のことである。「電気の使用を抑えることで健康被害が出てしまう」、「風力発電や太陽光発電を行うために土地開発を進めた結果、景観が損なわれた」などSDGsの達成のためにはトレードオフの問題が避けられない課題である。トレードオフに着目することで、よりよい町づくりについてより具体性を持って探究させていきたい。

## 7 単元目標

- (1) 自分の将来や、島の未来を考えるとという探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、地域の特徴やよさに加え、地域が抱える課題や探究的に学習することのよさに気付くことができるようにする。
- (2) プロジェクトの全体目標から自分の目標を設定し、達成のための計画を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・積極的に取り組み、地域と自分との関わりに関心を持ち、学習したことを自分の将来や今の生活に生かそうとする態度や、社会に参画しようとする態度を養う。

## 8 単元において育成しようとする資質・能力のかかわり

本校で育成しようとする資質・能力及び態度（○は本単元において育成しようとする資質・能力）

思考力・判断力・表現力	○	論理的に思考し、目的や意図に応じて自分の考えをまとめたり、発表したりできる。
主体性・積極性	○	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組もうとする。
自己理解・自らへの自信	○	自分の長所や短所を理解し、自己の生き方を考えようとする。

9 単元の評価規準（ルーブリック）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
			主体性・積極性	自己理解・自らへの自信
A	①課題の解決に必要な知識及び技能を十分に身に付けており, ②地域が抱える課題について気付き, 調査活動を適切に, 効果的に行うことができ, ③自らの探究過程をふり返ることで, 探究的に学習することのよさに気付いている。	①課題を発見・分析し, ②③適切な計画を立て, それを実行する中で考えたことを, ④根拠を明らかにしてまとめ, 表現している。	①課題解決に向けて見通しを持ち, 粘り強く取り組み, 自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。	②③地域と自分との関わりに関心を持ち, 今後の学習の在り方や街づくりへの参画の仕方, 自分の特徴やよさから生き方を考えようとしている。
B	①課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けており, ②地域が抱える課題について気付き, 調査活動を適切に行うことができ, ③探究的に学習することのよさに気付いている。	①②③課題の解決に向けての計画を立てることができ, その計画を実施し, ④考えたことを表現している。	①課題解決に向けて見通しを持ち, 粘り強く取り組み, 自身の活動を振り返ろうとしている。	②③地域と自分との関わりに関心を持つことができ, 自分の生き方を考えようとしている。
C	①課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けていない。 ②また, 地域が抱える課題について気付き, 調査活動を行うことができません, ③探究的に学習することのよさに気付いていない。	①②③課題の解決に向けての計画を立てることができない。 または, 計画を実施することができなかつたり, ④考えたことを表現したりしていない。	①課題解決に向けて見通しを持ち, 粘り強く取り組み, 自身の活動を振り返ろうとしていない。	②③地域と自分との関わりに関心を持つことができない。また, 自分の生き方を考えようとしていない。

10 単元計画【全35時間】

時		学習内容	評価
第1次 課題の設定	1/35	小学校での「大崎上島学」をふり返る。	知
	2/35	SDGsについて知る。 SDGsアクションカードゲーム「X(クロス)」に取り組み、「トレードオフ」について知る。	
	3/35	プロジェクトの概要について知る。見通しを立てる。	
第2次 情報の収集	4~6/35	【体験学習1】中国電力出前講座 これからのエネルギー問題 大崎クールジェン カーボンニュートラル	主
	7~8/35	【体験学習2】大崎上島食育講座 郷土料理「おおびら」をつくる。 豊かな生活・健康と食生活	
	9/35	【体験学習3】ものづくりマイスター講座 SDGsと「ものづくり」 造園の職業体験	
	夏休み	【体験学習4】権伝馬乗船体験学習 伝統文化の継承 権伝馬に携わる方々との交流	
	夏休み課題	大崎上島の「トレードオフ」を見つけよう！インタビュー調査	
	10~18 /35	【体験学習5】福祉体験学習 大崎上島の高齢者福祉 施設訪問 介護体験	
第3次 整理・分析 情報の収集	19・20 /35	大崎上島の解決すべき「トレードオフ」を考える。	思
	21~25 /35	「リソース」を探し、その活用案を考える。	
第4次 実行 (本時は26時間目)	26~28 /35	アイデアを交流し、解決策を吟味する。	思
第5次 まとめ・創造・表現	29~32 /35	レポートとしてまとめる。	思
	33・34 /35	レポートの交流をする。	
第6次 ふり返り	35/35	プロジェクトをふり返る。	主




1 1 本日の授業（第4次 26時間目）について

(1) 本時の目標：アイデアを交流し、解決策を改善しよう。

(2) 本時の学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項（◇） 「努力を要する」と判断した生徒への指導の手立て（◆）	評価の観点 (評価方法)
<p><b>課題の設定</b></p> <p>1 本時の位置づけについて確認し、課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習記録シートを配付・確認する。</li> </ul> <p>2 本時の課題を確認する。</p>	<p>◇本時がプロジェクト全体でどのような位置づけにあるのかを説明し、本時の活動や今後の活動について見通しを持たせる。</p> <p>◇プロジェクトの達成目標を確認する。</p>	
<p>本時の課題：アイデアを交流し、解決策を改善しよう。</p>		
<p><b>情報の収集</b>    <b>整理・分析</b></p> <p>3 アイディアの交流を行う。</p>	<p>◇「下書きワークシート」をもとに、アイデアの交流を行う。付箋を用いて行う。</p> <p>意見交流の際には次の視点を持たせる。</p>	<p>思・判・表 他人のアイデアを聞き、自ら考えたことを、根拠を明らかにして表現できる。</p> <p>（観察・発表・ワークシートへの記入）</p>
<p>視点①：「活用案」は「リソース」のよさを最大限生かしているか。</p> <p>視点②：解決策として他の「リソース」は考えられないか。</p> <p>視点③：「問題点・課題」として、他に考えられるものはないか。</p>		
<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>4 意見交流をした結果をまとめる。</p>	<p>◆教員が事前に発表内容などを把握し、発表の支援を行う。</p> <p>◇「学習記録シート」に意見交流の結果、レポートの清書を作成するにあたり、参考になった意見についてまとめさせる。</p>	
<p><b>振り返り</b></p> <p>5 本時の振り返りをする。</p>	<p>◇グループ内でまとめた結果を交流する。</p> <p>◇学習記録シートを用いて振り返り・自己評価をさせる。次の視点を持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価項目①と関連：グループの話し合いのよかったところ</li> <li>・ 評価項目②と関連：自分自身の参加の仕方について</li> </ul>	

12 実践記録

<p>第1次 課題の設定</p>	<p>○小学校での「大崎上島学」をふり返る。</p> <p>小学校での「大崎上島学」で印象に残ったことを、「自然（海や山）」「産業（水産業・観光業・農業）」「伝統文化・歴史」「その他」と分類し、ふり返りを行った。</p>  <div data-bbox="925 421 1305 678" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>「大崎上島学」これまでの学習をふり返って</b></p> <p style="text-align: center;">1年A組 番 名前</p> <p>1. 印象に残っているテーマに○をつけよう！（複数でもOK）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">自然(海や山)</td> <td style="width: 50%;">産業(水産業・観光業・農業など)</td> </tr> <tr> <td>伝統文化・歴史</td> <td>その他( )</td> </tr> </table> <p>2. ○をつけたテーマについて、 ① どのような印象に残っていますか？キーワードで書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <p style="font-size: small; text-align: center;">② 印象に残っていることについて文章で書きましょう！</p> </div> <p>OSDGsについて知る。</p> <p>OSDGsアクションカードゲーム「X（クロス）」に取り組み、「トレードオフ」について知る。</p> <p>SDGsについて概要を説明し、金沢工業大学SDGs推進センター作成のSDGsアクションカードゲーム「X（クロス）」を行った。ここで、「トレードオフ」と「リソース」の関係について学んだ。特に、「トレードオフ」については、「何かを達成するためには何かを犠牲にしなければならない関係のこと。SDGsの達成のためにはトレードオフの問題が避けられない課題」と説明した。</p>   <p>○プロジェクトの概要について知る。見通しを立てる</p> <p>「探究学習シート プロジェクトの全体計画」をもとにプロジェクトの全体像を全体で共有した。本指導案P10を参照。</p>	自然(海や山)	産業(水産業・観光業・農業など)	伝統文化・歴史	その他( )
自然(海や山)	産業(水産業・観光業・農業など)				
伝統文化・歴史	その他( )				
<p>第2次 情報の収集</p>	<p>○【体験学習1】中国電力出前講座 これからのエネルギー問題 大崎クールジェン カーボンニュートラル</p> <p>○【体験学習2】大崎上島食育講座 郷土料理「おおびら」をつくる。 豊かな生活・健康と食生活</p> <p>○【体験学習3】ものづくりマイスター講座 SDGsと「ものづくり」 造園の職業体験</p> <p>○【体験学習4】権伝馬乗船体験学習</p>				

○【体験学習5】福祉体験学習

大崎上島の高齢者福祉についての講話 車いす体験 施設訪問 介護体験

「エネルギー」「食」「ものづくり」「伝統文化」「福祉」など多岐にわたる分野の体験活動を行った。※福祉体験学習は講師の講話や車いす体験など、事前学習のみ実施となり、施設訪問や介護体験は中止となった。





○【夏休み課題】大崎上島の「トレードオフ」を見つけよう！インタビュー調査

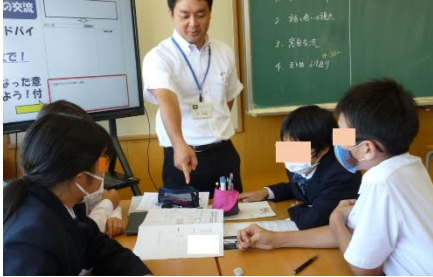
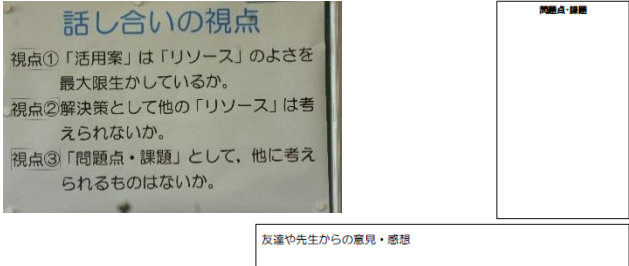
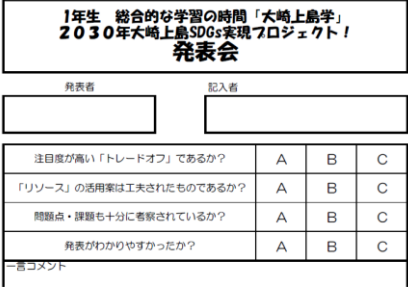
夏休みの課題として、身近な大人に大崎上島にどんなトレードオフがあるのかのインタビュー調査を行った。インタビューを通して、トレードオフが何なのか生徒自身の理解が深まったように思えた。

私たちの大崎上島 SDGs2030 夏休み課題  
～インタビューをして、「トレードオフ」を見つけよう！～  
1年A組 番 名前

インタビュー1人目	さん	何をしている人？
※教えてもらったトレードオフが:		
※教えてもらったトレードオフの説明やインタビューをして得た感想が:		
インタビュー2人目	さん	何をしている人？

<p>第3次 整理・分析 情報の収集</p>	<p>○大崎上島の解決すべき「トレードオフ」を考える。 ○「リソース」を探し、その活用案を考える。</p>			
	<p>体験活動やインタビュー調査などから 2030 年の大崎上島で起こりえる「トレードオフ」を考えさせ、そのトレードオフを解決するための「リソースの活用案」を考えさせた。次のようなトレードオフやリソースの活用案が子どものアイディアとして出た。</p>			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="336 472 1450 528">トレードオフ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 535 1450 591">大崎上島に観光客が増えたが、大串海岸の海のゴミが増えてしまった、</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 598 1450 696">リソース「リサイクル技術」活用案：ゴミ拾いのイベントを実施し、回収したものを再資源化する仕組みを整える。</td> </tr> </table>	トレードオフ	大崎上島に観光客が増えたが、大串海岸の海のゴミが増えてしまった、	リソース「リサイクル技術」活用案：ゴミ拾いのイベントを実施し、回収したものを再資源化する仕組みを整える。
トレードオフ				
大崎上島に観光客が増えたが、大串海岸の海のゴミが増えてしまった、				
リソース「リサイクル技術」活用案：ゴミ拾いのイベントを実施し、回収したものを再資源化する仕組みを整える。				
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="336 752 1450 808">トレードオフ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 815 1450 920">高齢者福祉の職業に力を入れた結果、他の職業が衰退し、人口減少と少子高齢化がますます進んだ。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 927 1450 1032">リソース「リモートワーク」活用案：若い人を島に残しておくために、島外に出勤せず、好きな仕事ができるようにする。島外に移住する必要がなくなる。</td> </tr> </table>	トレードオフ	高齢者福祉の職業に力を入れた結果、他の職業が衰退し、人口減少と少子高齢化がますます進んだ。	リソース「リモートワーク」活用案：若い人を島に残しておくために、島外に出勤せず、好きな仕事ができるようにする。島外に移住する必要がなくなる。
トレードオフ				
高齢者福祉の職業に力を入れた結果、他の職業が衰退し、人口減少と少子高齢化がますます進んだ。				
リソース「リモートワーク」活用案：若い人を島に残しておくために、島外に出勤せず、好きな仕事ができるようにする。島外に移住する必要がなくなる。				
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="336 1088 1450 1144">トレードオフ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1151 1450 1207">大崎上島を若者が住みやすい町づくりにしたらお年寄りが住みにくくなった、</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1214 1450 1368">リソース「ユニバーサルデザイン」活用案：ユニバーサルデザインを町づくりに取り入れる。電動リクライニング、電動ベッド、足の不自由な方も移動がしやすい工夫など。</td> </tr> </table>	トレードオフ	大崎上島を若者が住みやすい町づくりにしたらお年寄りが住みにくくなった、	リソース「ユニバーサルデザイン」活用案：ユニバーサルデザインを町づくりに取り入れる。電動リクライニング、電動ベッド、足の不自由な方も移動がしやすい工夫など。
トレードオフ				
大崎上島を若者が住みやすい町づくりにしたらお年寄りが住みにくくなった、				
リソース「ユニバーサルデザイン」活用案：ユニバーサルデザインを町づくりに取り入れる。電動リクライニング、電動ベッド、足の不自由な方も移動がしやすい工夫など。				
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="336 1424 1450 1480">トレードオフ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1487 1450 1543">高齢者が増え、福祉施設を増やしたが、そこで働く人がいなくなってしまった。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1550 1450 1704">リソース「介護について学べる学校」活用案：会議について学べる学校をつくり、介護の仕事をしてくれる人を増やす。また、介護士になるために大崎上島に人が来るので、人口が増える。</td> </tr> </table>	トレードオフ	高齢者が増え、福祉施設を増やしたが、そこで働く人がいなくなってしまった。	リソース「介護について学べる学校」活用案：会議について学べる学校をつくり、介護の仕事をしてくれる人を増やす。また、介護士になるために大崎上島に人が来るので、人口が増える。
トレードオフ				
高齢者が増え、福祉施設を増やしたが、そこで働く人がいなくなってしまった。				
リソース「介護について学べる学校」活用案：会議について学べる学校をつくり、介護の仕事をしてくれる人を増やす。また、介護士になるために大崎上島に人が来るので、人口が増える。				
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="459 1720 871 1966">  </div> <div data-bbox="1050 1720 1422 1749"> <p>※生徒のレポートを要約した</p> </div> <div data-bbox="999 1756 1310 1966">  </div> </div>			



<p>第4次 実行</p>	<p>○アイデアを交流し、解決策を吟味する。</p> <p>次のようなワークシート・付箋を用いて解決策の交流をした。ワークシートには「問題点・課題」を書く欄を設けている。活用案をより具体的・現実的に考えていくために設けた。</p>  																				
<p>第5次 まとめ・創造・表現</p>	<p>○レポートとしてまとめる。 ○レポートの交流をする。</p> <p>レポートとしてまとめ、レポートの発表会を行った。次の評価表をもとに互いの発表を評価し合った。</p>  <table border="1" data-bbox="1013 1048 1422 1182"> <tr> <td>注目度が高い「トレードオフ」であるか?</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>「リソース」の活用案は工夫されたものであるか?</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>問題点・課題も十分に考察されているか?</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>発表がわかりやすかったか?</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>一言コメント</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	注目度が高い「トレードオフ」であるか?	A	B	C	「リソース」の活用案は工夫されたものであるか?	A	B	C	問題点・課題も十分に考察されているか?	A	B	C	発表がわかりやすかったか?	A	B	C	一言コメント			
注目度が高い「トレードオフ」であるか?	A	B	C																		
「リソース」の活用案は工夫されたものであるか?	A	B	C																		
問題点・課題も十分に考察されているか?	A	B	C																		
発表がわかりやすかったか?	A	B	C																		
一言コメント																					
<p>第6次 振り返り</p>	<p>プロジェクトを振り返る。</p> <p>生徒の振り返りには「大崎上島にはいろんな問題があるから、リソースを有効的に使って未来の大崎上島が今より活気のあるよい町になっていたらと思う。」「これから少しでもゴミ拾いのボランティアなどに参加したい。」「ゴミ箱の工夫など、観光地にあったゴミ箱が実際にあるとよいと思った。」「みんなの発表を聞いて、未来の大崎上島についてもっと考えることができた。」「私は高齢者福祉のことを考えていたけど、みんなの発表を聞いて島には他にもたくさん問題があることに気がついた。」「島の文化にはよいものがたくさんあるのでそれを残していきたい。」「大崎上島には娯楽は確かに少ないけど、静かな雰囲気が大崎上島の魅力だから、自らそれを壊してしまうのも違うし、難しい問題だと思った。」「将来、自分の考えたトレードオフやみんなが考えたトレードオフが実際にどうなっているか知りたいと思った。」「未来が良くなるように、自分も町のことについてもっと知っていくことが大事ななと思いました。」「問題が1つ解決できてもたぶん、次の課題が見つかるだろうし、根本的なすべての解決にはならないだろうと思うけど、少しずつ何かを変えることはできるかなと思う。」というものがあつた。</p>																				

全体プロジェクト名	
<b>2030年大崎上島SDGs実現プロジェクト！</b>	
プロジェクトの達成目標	人口減少が続いている私たちのふるさと大崎上島で、2030年までにSDGsを達成させるためには、どんなことが大切なのかを1人1人が考えること。 ☆SDGs (Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」)は、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための目標である。2030年までに世界中で各目標を達成することが求められている。
プロジェクトに関わる伸ばしていきたい資質・能力	思考力・判断力・表現力 主体性・積極性 自己理解・自らへの自信
プロジェクトにおける評価項目	①探究すること：プロジェクトの達成目標に向けて、よりよい方法を考え取り組むことができたか。 ②自ら行動すること：失敗を恐れず行動・チャレンジし、その結果を次の活動に生かそうとすることができたか。 ③自分を見つめること：自分の興味があることや得意なことを見つけたり、将来の自分や島の未来について考えたりすることができたか。
プロジェクトの成果物	「私たちの大崎上島 SDGs 2030」レポート(裏面参照)を青海祭で展示し、保護者の方や地域の方に見てもらうこと。
スケジュール	①小学校での「大崎上島学」を振り返ろう！ ②SDGsとはなんだろう？ SDGsアクションカードゲーム「X(クロス)」をやってみよう！【1h】 ③本プロジェクトについての説明【1h】 ④中国電力出前授業 ⑤食育講座 ⑥ものづくり体験授業 ⑦権伝馬乗船体験学習 ⑧福祉体験学習 ⑨大崎上島の「トレードオフ」を探してみよう。【2h】 ⑩大崎上島の「トレードオフ」に対して「リソース」探し、その活用案を考えよう。【4h】 ⑪アイデアを交流し、解決策を吟味しよう！【1h】 ⑫レポートとしてまとめよう！【4h】 ⑬レポートの交流会【2h】 ⑭プロジェクトの振り返り【1h】